

ユニークな遊び心で開発する 子どもから大人まで楽しめる製品

有限会社きさら

 大阪
21

<http://kirara-do.com/>


メダル積み上げ器「TUNDOKO」

Company Profile

有限会社きさら

 住 所 / 〒586-0009
河内長野市木戸西町
1-6-14-3

 創 業 / 平成11年1月
設 立 / 平成15年2月
資本金 / 300万円
従業員 / 4名(平成21年10月現在)
T E L / 0721-56-5047
F A X / 0721-56-5046

■主な事業内容

アミューズメントホール向け機器の開発及び製造販売(メダル洗浄機、メダル積み器、ボール洗浄、ボールプール用ボール乾燥機及び関連商品)

■主な取引先

ゲーム機製造メーカー、ゲーム遊技場



連続式メダル洗浄機

当社のセールスポイント

お客様からの
お褒めの言葉が
うれしい励みです。


 代表取締役
片桐 健二さん

お客様に喜んでもらえることを一番に考えています。もっと喜んでもらいたいという思いから、また次の製品を考えるんです。お客様からお褒めの言葉を頂くと、何よりも励みになります。常にお客様とコミュニケーションをとり、ニーズを具体的にキャッチし、次回の作品づくりにつなげています。



ボール飛ばし装置

ボール洗浄機「たまごん」

1時間に4万枚の処理能力 連続式メダル洗浄機

同社は、ゲーム機関連アイテムの開発及び製造・販売を行っている。次々と画期的な製品をアイデア豊富な片桐社長自らが、開発・製造・販売している。新しく改良を加えリニューアルしたメダル積み上げ器「TUNDOKO」は、年間約100台を生産する人気商品。大手遊技センターでのシェアはトップ。造幣局のコイン洗浄システムにヒントを得たというのが連続式メダル洗浄機。最大の特徴は、洗った後に乾燥もできること。従来品では洗うだけで乾燥ができなかったのが、手作業で拭き取るか、乾燥機が必要であった。こちらの機種では、脱水スポンジローラシステムにより、メダルの水を完全除去・乾燥させることができる。

また、他社製品では一定のサイズしか洗えなかったが、メダルの大きさに関わらずどんなサイズでも洗えるのもメリット。1時間あたり4万枚(他社製品は36000枚未満)の処理能力を持つ二方省電力仕様で、今までの機種と比べ、1時間に1キロワットの消費量が節約。スポンジ交換の頻度も削減され、今までは毎日交換していたところ、2ヶ月〜3ヶ月に1度の交換ですむ。効率化・省エネルギー化が図れるというわけだ。

見た目に楽しい ボール洗浄・乾燥機

片桐社長はミシン機の会社に24年間勤務した後、独立。ミシンの機械設計で培ったノウハウをフルに活用している。現在の主力製品は、ボール洗浄・乾燥機の「たまごん」だ。子どもが遊ぶボールプールのボールを洗浄・乾燥する機械だが、ただ単に「洗浄・乾燥機」ではなく、「子どもが楽しめるものにしてほしい」という顧客からの要望があった。そのため洗うところを楽しく演出することを提案。結果は大成功で、「たまごん」は人

気者になり、東京の幕張メッセで行われる「アミューズメントマシンショー」にも出展している。今までは遊技場の休日や夜間を利用して、約2万個のあるボールを4〜5人かけて洗った後、1晩かけて自然乾燥させるという手間と労力が必要だった。そのため、月に1度しか洗わない所も多かったという。「たまごん」は、1時間3600個のボールを洗浄・乾燥させる。毎日洗うことができるので効率的で衛生的だ。

子どもが触れるものなので、とりわけ衛生面に配慮した。(財)日本食品分析センターで分析試験を行い、衛生面に問題がないものだけを販売している。「たまごん」で洗浄したボールは、従来の洗浄方法のものより3分の1以下の菌付着率を誇る。「たまごん」は、高齢者のリハビリ用具としても導入されている。今後もユニークで遊び心がある新商品を考案し、提案していく。